

ワークショップ「ユニバーサルデザイン」ってなんだろう？

8月27日(水)、ひたちなか市勤労者福祉サービスセンター主催の「わくわく体験事業第1弾」として日立グループのボランティア社員のご協力による小学3年生から6年生を対象としたワークショップが開かれました。

グループに分かれ、それぞれの自己紹介の後、ボランティアの方からユニバーサルデザインについての基礎的な知識を学びました。牛乳パックの刻みや、シャンプー、リンスについている目印など、ちょっとした工夫で多くの人が使いやすく便利になるような取り組みがいろいろなところでされていることを知りました。

そして、いよいよグループごとに作戦会議です。今日の使命は「ユニバーサルデザインのテレビのリモコンを考える」です。どんな工夫をするか、いろんな意見を出し合いまとめました。手に力のない人でも扱いやすい滑り止めつきのリモコン、番組を聴くと音声で答えてくれるリモコンなどアイデア一杯の作品が発表されました。

ワークショップの後半には視覚障害者の高橋さんから、どんなことで不便を感じているのかというお話や、今楽しんでいるブラインドサッカーの紹介を通じて、声を掛け合うことの大切さを学ぶことができました。

夏休みの最後の週、いろいろな立場の人々への思いやりをどうやって形にするのかを考える有意義な一日となりました。



こんなテレビリモコンはどうか？

● ボランティアの方のお話 ●

「ユニバーサルデザイン」は全ての人暮らしやすい社会を創っていく、実現するための製品づくりやサービスを考えていこうという考え方です。人はみな等しくオンリーワンの存在で、大人も子どもも誰もが時と場合によって制限をもって暮らしています。オンリーワンがいきいきと輝く社会実現のために、未来のために知恵をしぼろう、他者への思いやりを形にして行動しよう！と伝える活動が私たちのユニバーサルデザイン授業です。身近なユニバーサルデザインと一緒に考えていきましょう。(磯 けい子さん)

人権って何だろう？

「すべての国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない」(日本国憲法第14条)

21世紀は「人権の世紀」といわれています。今、私たちの周囲には、基本的人権が侵害されている様々な人権問題があります。人権とは、「人が人らしく生きていくために、社会によって認められている権利」であり、誰もが生まれながらにもっている、誰からも侵されることのない基本的権利です。

- 「男のくせに、女のくせに」と思っていないですか。
- 「年寄りだから、子どもだから」と軽く見ていませんか。
- 障害のある人に偏見を抱いていませんか。
- 外国の人たちを差別していませんか。
- 友達をいじめていませんか。
- 職業や社会的身分で人を判断していませんか。
- 心ないうわさ話で誰かを傷つけていませんか。

いずれの問題も、ともに暮らしている人々の人権意識を高めることによって、お互いの人権が守られ、心豊かな明るい社会が築かれていくのです。